


教材名	干支の置物—羊—	紹介者	恵田小学校
			
教材の紹介	<p>毎年 11 月、12 月に、次の年の干支を調べ、その動物の登場する絵本を図書館で探したり、絵に描いたりする活動を行う。そして、1 年飾れるように、平面やレリーフ、立体で作品作りをする。今回は、紙粘土で羊を作り、絵の具で彩色し、綿を貼って毛の質感を出した。台は箱を組み合わせ、ひももつけて、置いてもかけても飾れるように工夫した。</p>		
製作・入手方法等	<ol style="list-style-type: none"> ① 紙粘土で羊を作る。目と角は別に作ってつける。 ② 水彩絵の具で、顔・足・角・目を彩色する。 ③ 体にボンドをつけ、綿を貼り付ける。 ④ シュレッダーの裁断くずを緑の絵の具につけ、乾かす。 ⑤ 箱の蓋と底を組み合わせ、ホッチキスで固定する。(教師) ⑥ 文字(干支にちなんだ目標・名前・年号など)を筆で書く。 ⑦ 羊を置き、周りに④を置き、箱の内側に文字を貼った色画用紙(教師)を貼る。 		
子どもの反応等	<p>粘土作りが大好きなので、喜んで作った。綿をつけて羊の質感が出たのも気に入ったようだ。1 月中は、廊下にオルガン用のいすを置き、その上に飾ってみんなに見てもらえた。</p> <p>今回、箱(和菓子の軽くて丈夫な箱、底上げ用の厚紙があったので、それも利用)の底と蓋を組み合わせてホッチキスで止めるだけで、置く・かけるの二つの飾り方ができ、背景に言葉も簡単に飾れたことが、よかった。また、シュレッダーくずを草にしたところもよいアイデアだったと思う。</p>		